

医学の発展に

身を捧げた人々の

物語

天木嘉清

Amaki Yoshikyo

## はじめに

人類はこれまで危機ともいえるほど多くの難病に直面してきました。そして、その克服に貢献した多くの有名な研究者、医師の業績が歴史書の中で紹介され、その物語は多くの人々に感動を与えています。

しかし、数々の万病、難病は本当に彼らだけで克服できたのでしょうか。治療法発見の陰に、実は多くの無名の人々の献身的な行為があったのです。それは新しい治療法への参加であり、命をかけた人体実験です。

多くの医学歴史書を読むとページの向こうから、*「われわれも研究に参加したのだよ！」*という、そんな無名の人たちの声が聞こえてくるようです。本書ではそんな彼らに光を当ててみたいと思います。

臨床医学における新しい治療法の研究、新しい診断法の研究、新薬の発見などが何年にもわたって行われ、現在の高度な医療が確立しました。

今でもまだ完成ではなく、完治不能な疾患がまちかまえています。それらに対して医師、研究者たちの必死の努力が続けられています。その際に見逃せないのは医学特有の問題、生物学、物理学、化学などの他のサイエンスとは違った側面です。人間の身体そのものが関わる点です。試験管の中の反応や動物実験のみでは代用がききません。最終的には人間の体を使って研究結果を出さねばなりません。どんなに時代が変わろうと、どんなに科学が発達しようと避けて通れない関門が最後に存在するのです。言葉はきついですがこれは人体実験です。関門を通過した人々が多くおられました。この関門を通過したときどんな心境だったのでしょうか。彼らの勇気、決断、迷い、あきらめ、後悔などさまざまな心情があったことでしょう。

クレオパトラが自殺するときに、彼女はどのような方法で死ぬのが一番苦しまないか、一番死に顔が美しいのはどのような死に方かと悩みぬきました。そこで部下の女官たちにさまざまな方法を試しています。その結果ストリキニーネでは苦しさのため死に顔が醜くなることがわかり、コブラにかまれる方法をとったといわれています。女官たちはどんな気持ちで死んでいったのでしょうか。これはまさしく数千年前に行われた人体実験です。現在では人体実験という言葉は使わず、臨床試験と呼ばれています。毎日のように世界中で行われているのです。

現在、われわれが最新の最高の治療法、薬を用い、人生を享受できるのも人体実験に協力してくれた人々の存在があったからです。

ユヴァル・ノア・ハラリはその著『サピエンス全史』の中で農耕社会の歴史では近代後期までは人類の九割以上は農耕民で、残りの一割にも満たない役人、兵士、聖職者、芸術家の連中が歴史を埋める仕事をし、歴史とはごく僅かな人の営みであり、残りの人たちは畑を耕し、水桶を運んでいたと述べていますが医学の歴史を作ったのは一部の研究者、医師だけだったのでしょうか。

ナイジェリアの格言に『ライオンにシマウマの話をさせるな』との言葉があります。ライオンの餌食になるシマウマの苦しさは、ライオンには分からない！歴史は勝利者のみ語らせるな！敗者には勝利者には分からない物語があるのです。本書で扱う『隠れている人』は決して敗者ではありませんが、敗者のように弱く、なかなかものを語ろうとしませんし、今となつてはもう書けない、語られない歴史のなかに埋まってしまっている人もいるのです。そんな彼らに光を与えてみたく本書を書いてみました。



医学の発展に身を捧げた人々の物語

目次

はじめに 2

第1章 一般人が新しい治療法に協力した 11

天然痘の治療法を発見したジェンナーとこの治療に協力した人々 12

牛痘に感染した子供をつれて雪の峠越えをした 22

女王殿下の無痛分娩のために協力した妊婦 29

第2章 服役中の囚人が新しい治療法に挑戦した 31

第3章 自分の研究の成果を自分の体で証明する 41

自ら信じている原因菌を飲みこんで胃潰瘍を発生させた研究者  
静脈が心臓につながっていることを自分の体で証明した医師 47  
お笑いの寸劇を見て思いつき自分で抜歯 50 44

第4章 患者が新治療の対象になる 53

知らないうちに人体実験されてしまった患者 55  
ダニエルセンによって人体実験が行われた人たち 62  
医師、医学生の不潔な手から感染した患者 64

新しい治療法に命をかけた患者 67  
僧帽弁狭窄症の初期の手術で亡くなった患者 72

第5章 人体実験に貢献してくれた兵士たち 77

脚気の予防、撲滅のために貢献した日本海軍の兵士たち 89

第6章 船員が実験対象になる 95

第7章 家族に行われた人体実験 101



第8章 ボランテニアに対する人体実験 107

製薬会社が犯したとんでもない事件 109

第9章 最新の治療を受けながら医療の発達に貢献している 117

おわりに 120

参考文献 130